

令和6年度 小石川フィロソフィーⅢ

発表会概要集

3月18日（火） 2時間目 9:30～10:15

3時間目 10:25～11:10



講座	担当	会場
近代文学研究（夏目漱石研究）		
「平家物語」研究		
三大宗教とその周辺		
「世界・日本・社会」～国際比較データから 見えてくるもの～		
数学研究		
自然科学・探究活動の基礎		
体育・スポーツ		
SDGs 研究とディベート		
Let's Try English Drama!		

年 組 番 氏名（ ）

1	担 当 者		会 場	
RL-ROOM 名		近代文学研究『私の個人主義』（夏目漱石研究）		
夏目漱石が亡くなる2年前に学習院大学で講演した内容、『私の個人主義』から「エゴイズム」とは何であるか、そこからの脱却、「真の自由」とは何であるかを哲学的に考察していく。また、研究を踏まえ「自分らしく生きる」ということを考察し、自らの生き方を導き出す「文学」と「哲学」を研究する講座である。その観点の置き方には、文系のみならず理系の視点をも併せ持ったものもある。				
1・本当の自由とは 2・漱石の科学観 ～漱石の科学への関心 3・情報社会と個人主義 ～自己本位の確立 4・現代社会と個人主義 5・生きづらさへの処方箋 6・自己本位とは 7・夏目漱石の女性観 8・自己本位について 9・夏目漱石の近代観 10・漱石の思想の終着点				

2	担 当 者		会 場	
RL-ROOM 名		「平家物語」研究		
この講座ではまず「平家物語」を通読し、登場人物の心情や物語全体に通底するテーマ等について全体で考え、意見を共有しました。その後、それぞれの興味・関心に応じて「平家物語」について様々な角度から研究してきました。授業だけでは知りえない「平家物語」の魅力を、発表を通じて感じてみてください。				
●武士の美意識　―鎧の色から読み解く思想― ●歌舞伎で描かれる「平家物語」の人物像　―義経千本桜と熊谷陣屋を中心に― ●平維盛論　―魅力のある人物となった理由とは― ●実は「弱い」平家物語　―今に語り継がれる理由― ●「平家物語」と「吾妻鏡」の比較 ●「平家物語」から読み解く当時の仏教的死生観 ●「平家物語」における女性の役割				

3	担 当 者		会 場	
RL-ROOM 名		三大宗教とその周辺		
世界の宗教や、宗教にかかわることについて調べたことを発表する。 発表内容（現時点での内容。発表当日までに多少の変更もある）				
6 A教室 3時間目 宗教がなくなったら世界はどうなる？ 罪と宗教 一振り向いてはいけない 安楽死と宗教				
6 A教室 4時間目 ハラール認証の課題について ゆるキャラの宗教性 日本人は無宗教なのか 日本の仏教の極楽と地獄について				
6 B教室 3時間目 マインドコントロールについて レクイエムから考えるフォーレの死生観 アマテラスの陰謀				
6 B教室 4時間目 宗教がピアスに与えた影響 エジプト神話の神々は、なぜ頭が動物なのか 東洋医学と西洋医学の違いについて宗教がどうかかわっているか 人々は神に何を願っているか				

4	担 当 者		会 場	
RL-ROOM 名		「世界・日本・社会」～国際比較データから見えてくるもの～		

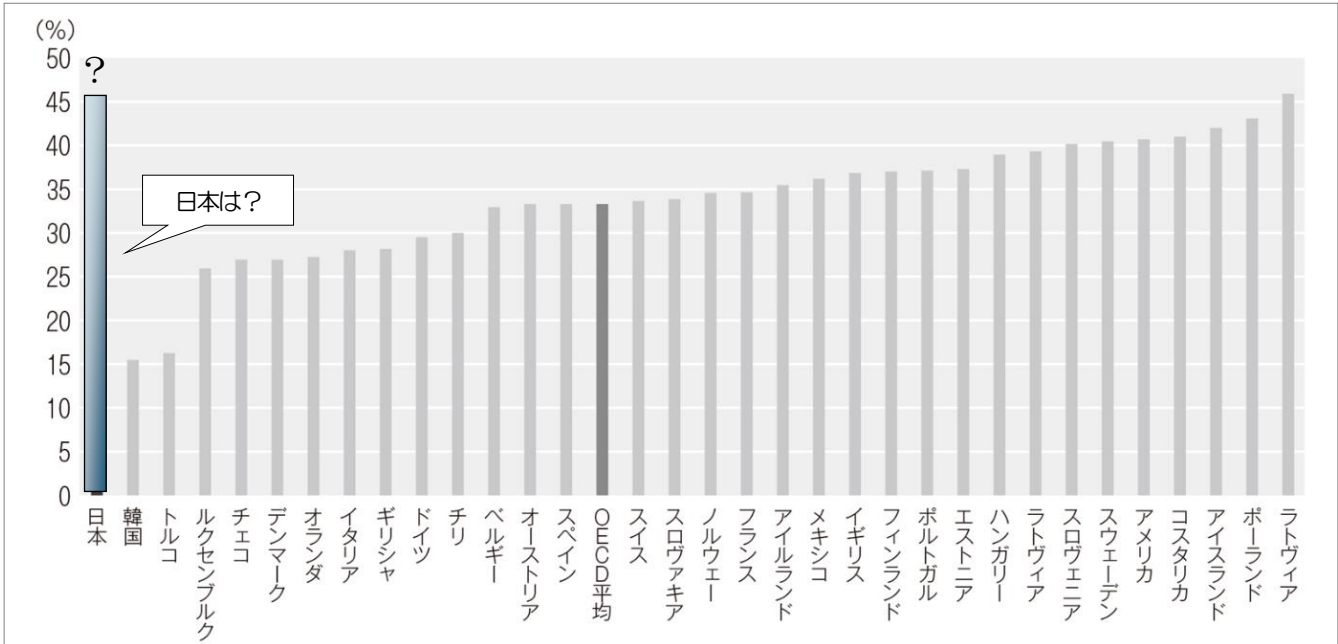


図 2-2 企業の管理職に占める女性比率（OECD33カ国、2019 年）
データ出所：OECD.Stat - Employment: Share of female managers より筆者作成。

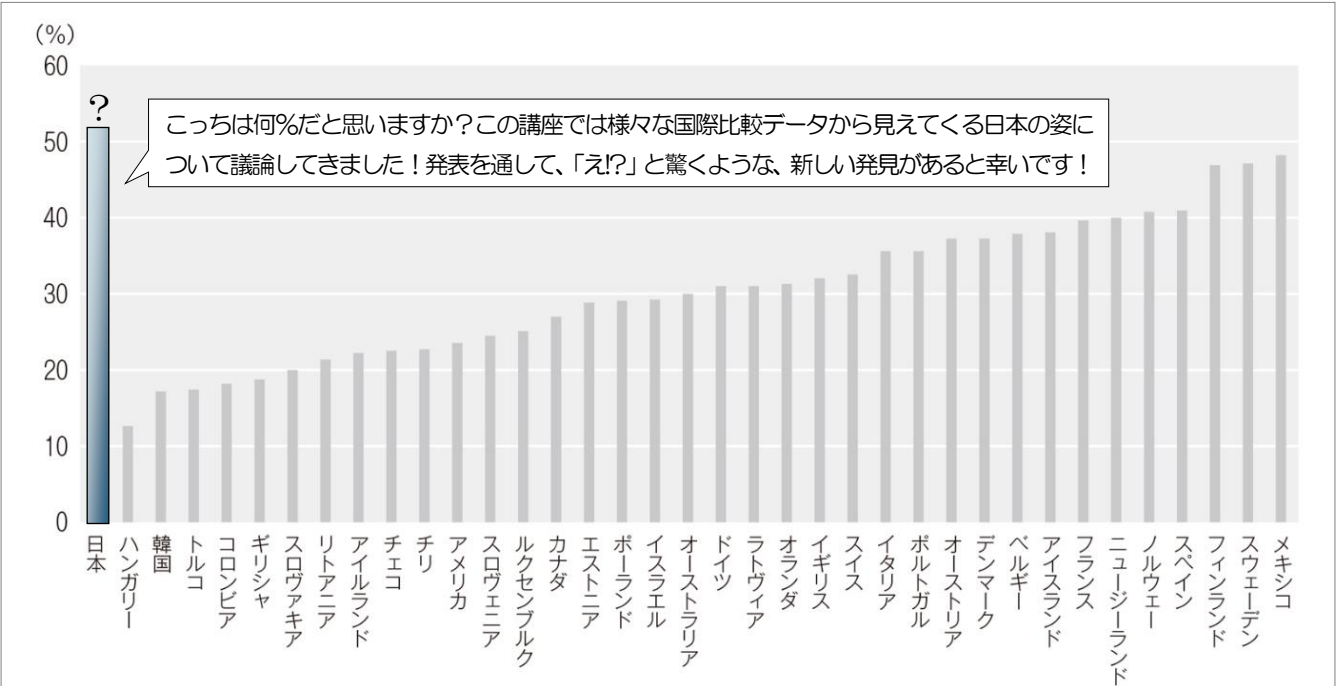


図 2-1 国会議員に占める女性比率（OECD37カ国、2019 年）
データ出所：OECD (2021), Women in politics (indicator) より筆者作成。

5	担 当 者		会 場	
RL-ROOM 名		数学研究		
数学には統計, 解析, 代数, 幾何, 折り紙, パズルなど魅力ある様々な内容があり, 数学への興味, 関心は人それぞれです。この講座では一人ひとりが研究テーマを設定して研究を進め, 校内外でのポスター発表やパワーポイントを用いたプレゼンテーションの実施し研究内容を深めました。 1学期は, 研究テーマ決めへのヒントとなる問題に取り組みました。自分が研究したいテーマを決め, 夏休み中に各自でその研究を進めました。 2学期は, 毎回の授業で研究を進めました。研究の成果についてパワーポイントを用いて発表し, 各自の研究内容をさらに深めていきました。そして, 12 月に東京都内 SSH 校発表会やマスフォーラム(数学生徒研究交流会)などで, 全員がポスター発表を行いました。 3学期は, 2学期に取り組んだ研究を完成に向けて進め, 3月に実施するフィロⅢ校内発表会(パワーポイントによる発表)に向けて, 研究のまとめを行いました。 <R6年度の研究内容について> ・敗者復活戦の影響 ・身の回りで使える確率のグラフ化 ・バズる絵の特徴 ・そうだ、新潟、行こう ・正夢の確率 ・政権を変えるには ・効果的な学級閉鎖の日数 ・某ファミレス完全攻略 ・ヒット&ブローの運要素を無くす ・より良い蹴り方 ・トロコイドによる幾何学模様の美しさの研究 ・絵画と色の関係 ・おうちに帰ろう～最速帰宅～ ・勝敗だけじゃないレートの計測方法 ・リンゴの美味しさを数値化する ・4 つ以上のベン図が描けない理由 ・ポリオミノで三次元 ・折るだけ。 ・関数と虚数の関係 ・日差しを遮るために必要な庇の長さについて ・身近に潜む数列 ・株価の見極め方 ・足が燃えるまで走る ・将来有望な選手 ・バズる曲を作りたい ・「10 を作るやつ」について ・取りづらいボールを打とう				

6	担 当 者		会 場																								
RL-ROOM 名		自然科学・探究活動の基礎																									
本講座では、自然科学分野の課題研究に必要な基本的なスキルを身に付け、それを活用したブレ課題研究を行ってきました。今年度は、すべての研究グループが、12月に工学院大学で行われた都内 SSH 指定校合同発表会で発表をしました。なかには、日本学生科学賞など外部のコンクールに出展し、賞をいただいた研究もあります。その内容をさらにブラッシュアップし、1年間ブレ課題研究に取り組んだ成果について発表します。 【主に学習した内容】 ・科学研究の考え方、データ処理・論文検索のしかた等の基礎技能の習得 ・仮説の検証 ・各自の研究テーマの設定と検証実験 ・パワーポイントやポスターを使用した発表方法の基礎 【発表予定の研究テーマ】 <table><tr><td></td><td>生物室会場</td><td>物理室会場</td></tr><tr><td rowspan="4">2 時間 目</td><td>Allelopathic effects of Papaver dubium on other plants in the field</td><td>結晶の茎について</td></tr><tr><td>アラミド繊維の研究</td><td>イモリの活動トリガーと気象条件の相関</td></tr><tr><td>モスキート音の聞こえ方の違いについて</td><td>交替性転向反応を探し調べる</td></tr><tr><td>小物発射装置開発</td><td>ヒヨドリの鳴き声によるコミュニケーションについて</td></tr><tr><td rowspan="5">3 時間 目</td><td>エナドリの最適解</td><td>機械音声における「人間らしさ」の出現</td></tr><tr><td>ダイラタント液体上の球の反発について</td><td>温度による米麹内の酵素の働きの違い</td></tr><tr><td>自然界の現象を利用した CO2 吸収装置について</td><td>消しカスから消しゴムの生成方法の改良</td></tr><tr><td>景と光の色の関係性</td><td>ガラスとのコミュニケーションは可能か</td></tr><tr><td>失敗しないアイスクャンディ作りの研究</td><td>ヒトの人魚への形態学的進化の可能性</td></tr></table>						生物室会場	物理室会場	2 時間 目	Allelopathic effects of Papaver dubium on other plants in the field	結晶の茎について	アラミド繊維の研究	イモリの活動トリガーと気象条件の相関	モスキート音の聞こえ方の違いについて	交替性転向反応を探し調べる	小物発射装置開発	ヒヨドリの鳴き声によるコミュニケーションについて	3 時間 目	エナドリの最適解	機械音声における「人間らしさ」の出現	ダイラタント液体上の球の反発について	温度による米麹内の酵素の働きの違い	自然界の現象を利用した CO2 吸収装置について	消しカスから消しゴムの生成方法の改良	景と光の色の関係性	ガラスとのコミュニケーションは可能か	失敗しないアイスクャンディ作りの研究	ヒトの人魚への形態学的進化の可能性
	生物室会場	物理室会場																									
2 時間 目	Allelopathic effects of Papaver dubium on other plants in the field	結晶の茎について																									
	アラミド繊維の研究	イモリの活動トリガーと気象条件の相関																									
	モスキート音の聞こえ方の違いについて	交替性転向反応を探し調べる																									
	小物発射装置開発	ヒヨドリの鳴き声によるコミュニケーションについて																									
3 時間 目	エナドリの最適解	機械音声における「人間らしさ」の出現																									
	ダイラタント液体上の球の反発について	温度による米麹内の酵素の働きの違い																									
	自然界の現象を利用した CO2 吸収装置について	消しカスから消しゴムの生成方法の改良																									
	景と光の色の関係性	ガラスとのコミュニケーションは可能か																									
	失敗しないアイスクャンディ作りの研究	ヒトの人魚への形態学的進化の可能性																									

7	担 当 者		会 場	
RL-ROOM 名		体育・スポーツ		
【発表内容】 本講座では生徒が興味・関心を持った「体育・スポーツ」に関係するテーマについて、個人またはグループで、実証実験や映像分析などを通して研究しました。今年の研究テーマは、以下の通りです。 それぞれの教室で、以下の内容を2時間かけて発表します。 3-C ・カットサーブのレシーブで点を取りたい！（ソフトテニス） ・感動を引き出すダンスについての研究 ・筋トレと水泳の能力向上 ・最も速い八方方向への一歩目 ・ラクロスにおけるドロースタックの向上 ・ショット別 バドミントンラケットの持つ長さによる違い ・バドミントンで精度を高めるには ・SASUKE サーモンラダーの攻略法 301 ・腕相撲で上向こう ・サーブをうまく打つ（バレー） ・200m速くなるには ・走り高跳び（陸上競技） ・カット打ちを極めて、フォアボールをもらおう（野球） ・100mと跳躍競技の関係 ・800m走のタイム向上について ・走り幅跳び（陸上競技） ・ピッチング（野球）				

8	担 当 者		会 場	
RL-ROOM 名		SDGs 研究とリサーチ（ディベート）		
このフィロソフィーの授業では、生徒は2つの主要な課題に取り組んできました。 ・ SDGs に関連した英語の文章を読み、そのトピックについて意見交換（ディスカッション） ・ 英語ディベートの入門編実践練習 当日は、この二つについて発表します。 ディベートには2つのタイプがあります。与えられたトピックについて、根拠データの準備期間がかなりあるディベートと、トピックが与えられてからの準備時間が15分程度しかなく、準備には辞書のみ使用可（インターネットの使用が禁止）の即興型ディベートがありますが、どちらの場合も、与えられた準備時間内で、自分たちのこれまでの知識を総動員して相手を負かす論を組み立てなければいけません。 ディベートでは、自分が望む、望まないにかかわらず、主催者によって肯定側、否定側に割り振られてしまいます。割り振られた側について、自分たちの主張を2つ、そしてその主張を支える根拠を相手側に伝えなければなりません。 当日の2時間目、3時間目は、どちらも同じ内容です。即興型ディベートというものをお見せする予定です。 Motion: School uniform should be abolished. 実際にお見せする前に、ディベートの入門を3年生がわかりやすくまとめ発表する予定です。どちらの時間に入室しても、だれでも楽しくディベートについて初歩的な知識を身につけられるはずです。				

9	担 当 者		会 場	
RL-ROOM 名		Let's Try English Drama!		
I 発表会について				
【目的】 研究発表と受講者による英語劇発表をととし、成果物を披露するとともに本講座の内容を伝える。				
【内容と時程】 1. ディレクターによる研究発表 （2限 9：30～）（3限 10：25～）				
2. 英語劇 <i>Alice in Dreamland</i> 公演 （2限 9：40～）（3限 10：35～）				
II 講座紹介				
【目的】 英語劇を創り上げる中で、英語の技術・表現力に加え、協調して成果物を完成させる力を身に付ける。				
【内容】 1学期にはミュージカル <i>Annie</i> を、2学期には <i>Alice in Wonderland</i> を題材に自分たちで英語劇を創り上げ、公演を行った。また、3学期に課題を設定し、論文作成を行った。				
【令和6年度スケジュール】				
4月 : ガイダンス				
5月から7月 : ミュージカル <i>Annie</i> の既成原稿を使用し、実際の演技を模倣しながら、演劇をつくりあげた。				
7月 : 校内発表会として <i>Annie</i> の舞台を実施した。				
9月から12月 : 原稿作成とオーディションの実施から生徒主体で行い、英語劇を完成させた。				
12月 : 外部演劇大会へ出場した。				
1月から2月 : 論文作成				
3月 : 小石川フィロソフィーⅢ発表会				
【コンテスト出場と成果】 令和6年度東京都中学校英語教育研究会主催学芸大会「プレイ」の部 第2位受賞				